

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構（通称：UTmobI）
学術支援専門職員 募集要項

本公募は、自動運転などモビリティに関わる革新的な社会実装へ向けて、とくに国や文化の違いによる差異とグローバルな普遍性に深い理解力を持ち、国際連携に参加する国内外の他大学や研究機関、民間企業、関連官庁などと情報交換し、国際ルール化の必要性などについて学術機関を代表して世界をリードすることで、自動運転を中心とした新技術によって持続可能で豊かな社会を実現することに貢献して頂ける方を広く公募します。

1. 職名及び人数： 学術支援専門職員 1 名（特定有期雇用教職員・常勤）
2. 契約期間等： 2019(令和元)年 10 月 1 日(最早時期) から 2020(令和 2)年 3 月 31 日
※予算の状況，従事している業務の進捗状況，契約期間満了時の業務量，勤務成績，勤務態度，健康状況等を考慮のうえ契約を更新する場合があります。
※試用期間あり（採用日から 6 月間）
3. 就業場所： 東京大学駒場リサーチキャンパス(目黒区駒場 4-6-1)
4. 所属： モビリティ・イノベーション連携研究機構
※人事上は，その責任部局である生産技術研究所の所属となる
5. 業務内容： 自動運転を中心に新技術によるモビリティ・イノベーションの推進
多様な連携とくに国際交流・連携の推進，およびその研究支援業務
6. 応募資格： 自動運転技術などの新技術開発，または，新技術の社会実装に強い興味か経験を持ち，英語も含む十分なコミュニケーション能力を持つと共に，だれもまだ成し遂げていない新たなチャレンジに意欲を持つ者
7. 就業日・時間： 週 5 日（月～金）1 日 7 時間 45 分(原則として，9:00～17:30)，
休憩時間 12:00-12:45(45 分間)， 時間外労働を命じることがある
8. 休日： 土日，祝日法に基づく休日，年末年始（12 月 29 日～1 月 3 日）
9. 休暇： 年次有給休暇（1 月から 12 月の 1 年で 20 日付与 ※ただし採用年については規則に基づき付与），病気休暇(有給)，特別休暇(有給)（リフレッシュ休暇・忌引など）
10. 給与： 東京大学年俸制給与の適用に関する規則の基本年俸俸給表に基づき支給（月給制）。資格や経験などに応じて月額 50-80 万円程度（業績・成果手当を含む）。通勤手当は，本学の支給要件を満たす場合に支給。超過勤務手当は，超過勤務を命ぜられ勤務した場合に支給。
11. 社会保険等： 文部科学省共済組合，雇用保険，労災保険については法令の定めるところにより加入
12. 提出書類： 1) 東京大学統一履歴書 以下の URL からダウンロードして作成
<https://www.u-tokyo.ac.jp/ja/about/jobs/r01.html>
2) 主要業績説明書(業績または論文を 3 件程度以内を A4 用紙 1 枚)
3) 既往研究または業務経験概要と本応募の抱負(A4 用紙 1 枚)
4) (あれば)上記 2)に関連する資料か論文の別刷かコピー各 1 部
13. 応募〆切： 2019(令和元)年 7 月 26 日(金) 必着 書類選考の上，面接を実施
※ただし，適任者が決まり次第，応募を締め切る場合もある

14. 提出方法： 封書に「UTmobI 学術支援専門職員応募書類在中」と朱書きし，記録が残る方法で下記住所に送付のこと。※注：応募書類は返却しない
15. 書類提出先： 153-8505 東京都目黒区駒場4-6-1
東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター事務局 宛
(書類提出に関する問合せ：its-sec@its.iis.u-tokyo.ac.jp)
16. 問合せ先： 東京大学生産技術研究所 次世代モビリティ研究センター
センター長・教授 大口 敬 (おおぐち たかし)
Email: takog@iis.u-tokyo.ac.jp
17. その他： 面接に必要な旅費，滞在費等は応募者の負担とします。
応募の秘密は厳守し，応募書類は採用選考の目的以外には使用いたしません。

(背景)

自動運転・AI・サイバーセキュリティ・5G通信，高齢化，都市化，過疎化，キャッシュレス決済や定額制サービス，そしてシェアリングの浸透など経済・経営環境の変容などが，既存の産業構造やビジネスモデルなどを大きく変える，まさに今，変革の時代にあります。

モビリティ（移動）システムは，我々が社会を営む上で必要不可欠なものであり，またこれが引き起こす交通事故，交通渋滞，環境影響といった外部費用は大きな社会損失である一方，衣食住，医療健康などとも密接に関連する社会の基幹的な公共インフラです。

新技術などのシーズの急速な伸張に対応して，法制度，保険，ビジネスモデルなどの修正，変更を強力に推進し，持続可能な経済発展にも寄与するモビリティのイノベーションが望まれます。一方，深刻かつ喫緊の課題を抱える多様なニーズとの適切なマッチングにより，社会から広く受け入れられるようなシステムへの脱皮も求められます。

東京大学モビリティ・イノベーション連携研究機構（略称：UTmobI）は，こうした問題意識から，文理融合型でかつ実社会における実装までを一気通貫で捉えた，望ましいモビリティの革新を実現するための人類の叡智を結集し，新たな知識体系を構築することを目的に，多様な専門性を持つ東京大学内の部局が連携して2018年7月に発足しました。

モビリティ・イノベーションでは，たとえば産業製品として自動運転車がグローバルに受け入れられる普遍性を必要とするだけでなく，たとえば道路交通法のような社会制度にも一定の国際ルールが必要であり，広く文理を問わない多様な分野で国際連携による情報交換，意見交換や国際ルール化なども求められることがあります。

本公募では，内閣府 SIP 自動運転（システムとサービスの拡張）の支援の下で，とくに国や文化の違いによる差異とグローバルな普遍性に深い理解力を持ち，国際連携に参加する国内外の他大学や研究機関，民間企業，関連官庁などと情報交換し，国際ルール化の必要性などについて学術機関を代表して世界をリードすることで，自動運転を中心とした新技術によって持続可能で豊かな社会を実現することに貢献して頂ける方を広く公募します。